**特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」**

**ボウリング競技実施要領**

１　競技規則

令和５年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本パラスポーツ協会制定）によるもののほか，この要領の定めるところによる。

２　競技方法

⑴　試合の方法は，デュアルレーン（アメリカン）方式で行う。

⑵　競技はすべてスクラッチ４ゲームとし，その合計得点により順位を決定する。

　※　順位の決定の際，同点の成績の場合は，規定に基づきゲームローハイにて決定する。

⑶　原則として，ゲームは１ボックス（２レーン）８名までとし，１フレームごとに交代で投球する。

⑷　投球練習は，競技開始前に競技役員の指示により，各選手が競技を行う２つのレーンで１０分間行う。

⑸　隣り合ったレーンで，同時に投球姿勢に入った場合は，右側レーンの選手を優先する。

⑹　ファウルについては，自動式ファウル判定機を使用する。

⑺　オートマチックスコアラーの操作，個人記録カードの記入は，全て競技役員が行う。

⑻　競技は，競技日程に基づき実施し，全て競技役員の指示で行う。

３　服装等

⑴　服装は，ボウリング競技をする上で支障のないものを着用する。

⑵　ソックスを必ず履くこと。

⑶　番号布（ゼッケン）は，主催者が交付したものを胸部及び背部に付ける。

４　招集

⑴　招集は，所定の場所で行う。

⑵　招集は，原則として開始２０分前から指定されたボックスで行い，開始１０分前に完了する。

⑶　招集完了時刻に遅れた選手は，棄権したものとみなし，競技に出場できない。

５　開始式・表彰式

⑴　開始式は，競技開始前に競技会場で行う。

⑵　表彰式は，各シフトの競技終了後に競技会場で行う。

６　その他

⑴　監督会議は，令和５年１０月２７日（金）に行う。なお，監督会議の時間及び場所については別途通知する。

　⑵　競技場内へは，主催者の許可を受けた者以外は立ち入ることができない。

　⑶　選手は，競技中ボウラーズベンチを離れてはならない。やむを得ず離れる場合は，必ず競技役員に申し出ること。

　⑷　各選手団において選手以外にボウラーズエリアに入ることができる者は，選手，監督またはコーチ（各選手団，ＩＤカードを付けた１名のみ），競技役員，競技補助員とする。ただし，各選手団の監督またはコーチが立ち入ることができるエリアは，自チームが競技しているボックス内のみとする。

　　　また，ボウラーズエリアに入る際は，必ず屋内シューズを着用すること。

　⑸　競技会場のハウスボール及びハウスシューズを使用する場合は，参加申込書に基づき，主催者が競技会場で用意する。

　　ア　ハウスシューズは，主催者が所定の場所に用意し，選手はボウラーズエリア後方の通路で履き替える。

　　イ　ハウスボールは，主催者が所定の場所に用意し，選手は競技終了後，速やかに元の場所に返却する。

　⑹　ボールを拭くタオルは，選手自ら用意すること。

　⑺　競技上不明な点は，競技本部に問い合わせること。

⑻　荒天時ほか不測の事態が生じた場合の取扱いは，主催者において別途決定する。